

【令和3年度版】調査書（様式11号）作成上の注意

- 1 県立特別支援学校に提出する調査書は、特別支援教育課ホームページからダウンロードしたものを基に作成し、プリンタから出力したもののほか複写したものでもよい。
- 2 ※欄は、記入しないこと。
- 3 各欄の記入は、次のとおりとする。
 - (1) 「特別支援学級在籍の有無」
「有・無」のいずれかに丸印を付ける。
 - (2) 「卒業者の動向」
既卒者については、中学校等卒業後の動向を具体的に記入する。卒業見込の場合は、斜線を引く。
 - (3) 「学習の記録」
 - ア 第1学年、第2学年の評定については、各教科とも、中学校生徒指導要録・中学部生徒指導要録（以下「指導要録」という。）に記入してある5段階評定を転記する。
 - イ 第3学年の評定については、各教科とも、指導要録に記入する仕方によって、目標に準拠した評価による5段階評定を記入する。
 - ウ 「第3学年での観点別学習状況の評価」欄については、次ページに示す観点ごとに指導要録に記入する仕方によって、A、B、Cの評価を記入する。
 - エ 「特記事項」欄については、指導要録の観点別学習状況における優れた特徴や、各教科、総合的な学習の時間の学習について総合的に見た長所を具体的に記入する。なお、特別に記入を要する事項（例えば、病気、けが等により評定に著しく変動のあった場合）があればその状況についても記入する。
 - オ 「総合的な学習の時間の記録」欄については、「学習活動」欄に、この時間に行った学習活動、取組の内容（テーマ等）を記入し、「評価」欄に、生徒の学習状況における顕著な事項や生徒にどのような力が身に付いたかなどを記入する。
 - (4) 「特別活動の記録」
 - ア 第1学年、第2学年については、指導要録に記入してある「特別活動の記録」を転記し、第3学年については、指導要録の記入の仕方によって記入する。
 - イ 「委員等」欄については、各学年における主な係名や委員名及び学校行事における役割を記入する。
 - (5) 「行動の記録」
第1学年、第2学年については、指導要録に記入してある「行動の記録」を転記し、第3学年については、指導要録の記入の仕方によって記入する。
 - (6) 「出欠の記録」
 - ア 第1学年、第2学年については、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記し、第3学年については、令和3年12月末現在で記入する。（平成29年3月以降の卒業者は、第3学年についても、指導要録に記入してある「欠席日数」を転記する。）
 - イ 「主な欠席理由」欄には、各学年で、欠席日数15日以上又は連続して6日以上の場合は、必ずその主な理由を記入する。ただし、出席停止、忌引き等の日数は、欠席日数に含めない。
 - (7) 「身体状況」
 - ア 「視力」欄には、裸眼視力を記入し、矯正視力を（ ）内に記入する。
 - イ 「聴力」欄には、裸耳での状態を記入し、異常がない場合は「異常なし」と記入する。
 - ウ 「発作」欄には、ある場合は、てんかん発作・喘息発作等を記入する。ない場合は、斜線を引く。
 - エ 「体温調節」欄には、「できる」又は「できない」と記入する。
 - オ 「疾病等・身体障害者手帳の記載事項」欄には、身体障害者手帳の記載内容をそのまま記入する。身体障害者手帳に記載がない場合でも、分かれば診断名や疾病等、該当するものがあれば、できるだけ具体的に記入する。
 - カ 「療育手帳の有無」欄は、有、無のいずれかに丸印を付ける。有に丸印を付けた場合は、A、Bのいずれかにも丸印を付ける。

(8) 「自立活動の記録」

第1学年、第2学年については、指導要録に記入してある「自立活動の記録」を転記し、第3学年については、指導要録の記入の仕方によって記入する。

(9) 「総合所見及び参考となる事項」

部活動の所属部名及び主な活動状況、校外における活動状況（ボランティア活動、文化・スポーツ活動等）など生徒の成長の状況を記入する。また、必要な介助や配慮等学校生活を送る上で必要な諸事項及び進路に関する希望について記入する。なお、医療的ケアを実施している場合は、その状況を記入する。

観点別学習状況における各教科の評価の観点

教科	観 点		教科	観 点	
国 語	I	国語への関心・意欲・態度	美 術	I	美術への関心・意欲・態度
	II	話す・聞く能力		II	発想や構想の能力
	III	書く能力		III	創造的な技能
	IV	読む能力		IV	鑑賞の能力
	V	言語についての知識・理解・技能	保 健 体 育	I	運動や健康・安全への関心・意欲・態度
社 会	I	社会的事象への関心・意欲・態度		II	運動や健康・安全についての思考・判断
	II	社会的な思考・判断・表現		III	運動の技能
	III	資料活用の技能		IV	運動や健康・安全についての知識・理解
	IV	社会的事象についての知識・理解	技 術 ・ 家 庭	I	生活や技術への関心・意欲・態度
数 学	I	数学への関心・意欲・態度		II	生活を工夫し創造する能力
	II	数学的な見方や考え方		III	生活の技能
	III	数学的な技能		IV	生活や技術についての知識・理解
	IV	数量や図形などについての知識・理解	外 国 語	I	コミュニケーションへの関心・意欲・態度
理 科	I	自然事象への関心・意欲・態度		II	外国語表現の能力
	II	科学的な思考・表現		III	外国語理解の能力
	III	観察・実験の技能		IV	言語や文化についての知識・理解
	IV	自然事象についての知識・理解			
音 楽	I	音楽への関心・意欲・態度			
	II	音楽表現の創意工夫			
	III	音楽表現の技能			
	IV	鑑賞の能力			

平成26年3月以前の卒業者は、学校教育法施行規則にある指導要録の取扱いに従って、記入できる範囲で、指導要録を転記することにより作成する。